



心不全の緩和医療

息が苦しい、体がむく

むといった症状の原因が心臓にある場合を、「心不全」の状態といいます。心臓には血液を全身に送り出すポンプの役割があるのですが、心不全とは、それが十分機能していない

治療としては、まず、心臓がポンプ不全になつた原因に対してのものがあり、呼吸困難や浮腫に対しては、酸素療法や薬物治療などを行います。

多くの場合は症状は改善しますが、その後に何度も同じ症状を繰り返し、その4月から厚生労働省の診療報酬指針で心不全も緩和医療の対象と認定さ

れます。先日大阪で開かれた日本循環器学会総会では、やはり同じようにジレンマを感じていた医療機関が多数ありました。このたびことに利尿剤や強心剤といった薬剤治療を行っていきます。症状を緩和するといった意味で「やつ」という時代になつてくれた」と一様に安堵した次第です。

現在、当院はこの地域で最も多くのがん患者の終末期の緩和医療についています。その経験を生かし、私自身が専門

状態を指します。

は、従来型の心不全管理だけでは十分ではないと

してきた心疾患の領域でも、心不全の患者さ

んが自宅でより良い療養生活を送れるように、

レンマを感じていました。根本原因への治療と合

わせて、緩和ケアを行つ

ていきたいと考えてい

う印象を常に持つてお

り、治療をしながらもジ

レンマを感じていました。根本原因への治療と合

わせて、緩和ケアを行つ

ます。皆さんには、緩和

医療は病院だけではなく、在宅でもできることを

知つていただきたいです。選択肢がぐっと広がるはずです。



松原 清二医師
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医

- ・日本循環器学会専門医
- ・日本内科学会認定医
- ・認知症サポート医

多くの場合は症状は改善しますが、その後に何度も同じ症状を繰り返し、その4月から厚生労働省の診療報酬指針で心不全も緩和医療の対象と認定されました。選択肢がぐっと広がるはずです。

☎ 042-439-1250

西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)

- 電話対応：午前 9:00～午後 6:00
- 定休日：土日（祝日は診療）
- 訪問地域：西東京市、東久留米、新座・練馬の一部



【まつばらホームクリニック】 ↑診療相談はこちらから

* 2018年4月、名称が「医療法人社団楓凌会 まつばらホームクリニック」に変更しました